

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する意見の反映について、個々の家族の状況に合わせて意見や要望を把握する取り組みが不足している。	多くの意見を引き出して運営の改善に反映することができる。	入居者との会食や家族アンケートの実施を通じて、意見や要望を引き出す。	8ヶ月
2	35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難をするためには、職員だけの誘導には限界があることから、地域との協力体制の確立が重要である。	町内会、地元消防団等との連携をさらに強化する。	近隣住民の避難訓練への参加、自動通報先への追加。 運営推進会議実施時に消防署員も参加していただき、対策を再度検討する。	12ヶ月
3	34	利用者の急変や事故発生時に対して、全職員が不安を抱えることがないように、定期的な勉強会を継続して行い、実践力を身につけていくことが大切である。	全職員が急変や事故発生時に対応できるスキルを身につけることができる。	消防署の協力のもと、救急救命法・応急手当の研修を継続して実施すると共に、シチュエーションに応じた対応の訓練を内部研修として実施する。	6ヶ月
4	2	利用者が地域社会とのつながりを持ち、地域の中で当たり前の暮らしが継続できるように、地域との交互交流などの積極的な取り組みが必要である。	地域との交互交流の機会が増える。	地域の介護予防教室へ参加の継続や近隣の小中学校との交流、各種行事への参加などを通じて事業所の取り組みの発信や地域との相互交流の増加を図る。	12ヶ月
5	54	居室への持ち込み品が少ない利用者があり、本人が居心地よく過ごせるような工夫が不足している。	使い慣れたものや好みのものを活かしながら、入居者が居心地よく過ごせる居室作りができる。	家族が面会や会食会などで来所された際に、入居者の居室を入居者・職員と見てもらい一緒に居心地のよい居室づくりを検討する。	12ヶ月